

浜松市市民協働を進めるための基本指針

— 多様な主体によるまちづくりを実現するために —
～中高生の皆さんへ～

「市民協働によるまちづくり」とは？

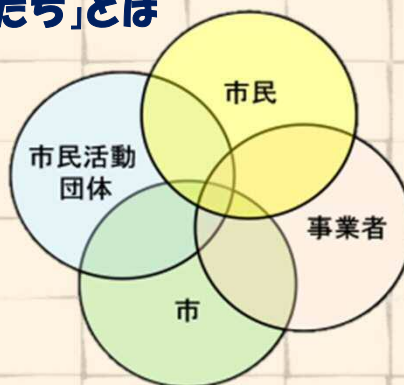
皆さんの身近には、社会的課題が多くあります。その課題を解決するために、市民、NPOや自治会をはじめとした市民活動団体、事業者、市(市役所)など、さまざまな人や団体が取り組んでいます。

このような多様な主体(私たち)が、お互いを理解し合い、対等な立場で手を取り合い、みんなが幸せに暮らせる地域にするために取り組むことが「市民協働によるまちづくり」です。

社会的課題の例

- 防災
- 教育
- 交通安全
- 観光
- 福祉
- 就労
- 防犯
- 緑化
- 子育て
- にぎわいの創出
- 環境

「私たち」とは



多様な主体(私たち)の将来の姿と基本的な考え方



みんなにも出来ることって何だろう？

繋がる

市民協働でまちづくりの主役になる

- ・地域のイベントにスタッフとして参加する
- ・協働センターのコミュニティ担当職員の話聞く
- ・様々なボランティア活動に参加し、交流の輪を広げる

深める

まちづくりの担い手として行動する

- ・地域の防災訓練、清掃活動などに参加する
- ・市民活動体験講座などのボランティア講座に参加し、団体の活動を体験する

広げる

まちづくりへの関心を高める

- ・地域の運動会など、イベントに参加する
- ・協働センターを利用してみる
- ・回覧板で地域の情報をチェックする
- ・地域の話題・課題を新聞やホームページなどで調べる

「市民協働」によるまちづくりはなぜ必要？

高齢化

人口減少

NPO法人数の増加

事業者による社会貢献活動

- 社会的課題の種類・量の増加
- 市民活動の担い手の減少
- 市民の興味・関心の高まり
- 民間事業者による公共サービスの提供

それぞれの力だけでは課題解決は困難です。そこで、新たな担い手の発見や、現在の担い手を拡大し、私たちが連携して取り組む必要があるのです！

「自分たちのまちをもっとよくしよう」という思いを持って、今自分が出来ることをしてみよう！